

「孤独死・孤立死」の実態把握に関するワーキンググループ（第3回） 議事要旨

1. 日時 令和7年2月5日(水) 10:00～12:00

2. 場所 オンライン開催（株式会社日本リサーチセンター会議室）

3. 出席者

構 成 員：石田 光規 早稲田大学文学学術院文化構想学部 教授（座長）
金涌 佳雅 日本医科大学大学院医学研究科 教授
斉藤 雅茂 日本福祉大学社会福祉学部 教授
田高 悦子 北海道大学大学院保健科学研究院創成看護学分野 教授
オブザーバー：警察庁、厚生労働省
事 務 局：内閣府孤独・孤立対策推進室、株式会社日本リサーチセンター

4. 議題

- (1) 「孤独死・孤立死」の実態把握に関するワーキンググループの設置について
- (2) ワーキンググループとりまとめ（骨子案）について
- (3) 生前の状況・看取りの有無と死後経過時間について
- (4) その他

5. 配付資料

資料1：「孤独死・孤立死」の実態把握に関するワーキンググループの設置について
資料2：「警察取扱死体のうち、自宅において死亡した一人暮らしの者」（警察庁データ）をもとにした孤立死の実態把握方法等について～「孤独死・孤立死」の実態把握に関するワーキンググループとりまとめ～（骨子案）
資料3：生前の状況・看取りの有無と死後経過時間
参考1：中間論点整理
参考2：中間論点整理のポイント
参考3：警察庁公表資料（警察取扱死体のうち、自宅において死亡した一人暮らしの者～令和6年上半期（1～6月）～暫定値）

6. 議事要旨

- (1) 「孤独死・孤立死」の実態把握に関するワーキンググループの設置について
事務局（内閣府）から、資料1に基づき説明。
 - ・ ）「孤独死・孤立死」の実態把握に関するワーキンググループの構成員として、田高教授を追加する。
- (2) ワーキンググループとりまとめ（骨子案）について

事務局（内閣府）から、資料2に基づき説明。主な意見は以下のとおり。

- ・ 出典についてはなるべく丁寧に記載する。
- ・ 単独世帯数が2020年に38.0%を占めているという記述があるが、中間論点整理では36%となっていた。
→中間論点整理の段階では、社人研の将来推計が令和元年推計だったが、11月に令和6年推計が出たため、2020年の数値に修正した。国勢調査の度に推計はやり直している。
- ・ （3）ア 警察取扱死体の数をベースとすることについて において、「統計上大きな差はない」という表現よりは、「過大見積もり、過小見積もりは一定程度あると考えられるものの、推計を用いることにおける利益の方がリスクを上回る」とした方が良いと思う。また、全体を通して「統計上大きな差はない」といった表現は変更した方が良いと思う。
- ・ 過大見積もりについては、警察庁の犯罪統計により、ある程度定量的にも示せている。かかりつけ医が死亡診断書を書くケースについては、件数を示すのは難しいが、死亡診断書を書ける関係性があるということは孤立死の範疇から外れているという理由付けの方が合理的かと思われる。
- ・ 過小見積もり要因の追加として、かかりつけ医がいなくともたまたま早く単身者が自宅で発見され、病死の医学的所見が得られたら異常死届出の要件にはならないので、過小評価の要因になるかと思う。
- ・ 複数世帯で亡くなった事例については、複数人の同時死亡についてはデータがないのではないかと。世帯の一部の方が死亡して気付かれず、又は放置されていた事例については、全国データはないものの、

東京都のデータから、多くは発生していないことは示すことができる。

（3）生前の状況・看取りの有無と死後経過時間について

- ・ 事務局（内閣府）から資料3に基づき説明。主な意見は以下の通り。
- ・ 「遺体の損傷」は分かり難い。「遺体の腐敗」とすると、強烈かもしれないが、法医学では「死後変化」という表現もある。「損傷」よりもはっきり書いた方が良い。
- ・ 4ページ目「概ね3から4日」は腐敗による皮膚変色が始まると教科書的に記載されている内容で、春秋を前提とされている。文献を示すこともできるが、ばらつきが大きいので、死後経過日数の扱いには注意が必要であることを明記した方が良い。
- ・ 死後経過日数が4日から7日は遺体の腐敗による日数、ご遺体の尊厳の観点からの日数であり、8日以上は社会的孤立が推認される日数、と並列に示しているが、そうではないのではないかと。4日から7日については、8日以降ではかなり強くその社会的孤立が推察されるところ、その程度はそれよりも薄いかもしれないが、一定の程度孤立があったと考えられる、かつ、法医学的見地から、と、連続するプロセスのようにはどうか。
- ・ 遺体の尊厳の話もあったが、季節や地域による差もあるので、「4日以上」については、あくまでも目安や参考として入れる。
- ・ 3日以下の部分を取り上げない理由を説明する必要もあるかもしれない。
- ・ ニッセイ基礎研の時には、すごく強固なエビデンスや理論的な背景に基づいて4

日としたわけではなかったように思う。